

まちづくりの基本政策について

答申事項4 まちづくりの基本政策

流山市が目指すまちの実現に向け、分野ごとに今後どのようなまちづくりを目指すのか明らかにしたもの

基本政策の見直しのポイント

- ・社会情勢の変化や課題への対応
- ・市民意識調査などの市民ニーズの反映
- ・細分化することにより、分野ごとの目指す政策を明確化

現在の政策

1. 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）

公園・緑地、市街地整備、景観、道路、河川・排水、上下水道、公共交通、など

2. 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）

環境、ごみ処理 防災、消防・救急、防犯、交通安全、消費生活、コミュニティ など

3. 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）

生涯学習、学校教育、青少年育成、文化・芸術、スポーツ、多文化共生 など

4. 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）

子育て、高齢者支援、障害者（児）支援、生活支援、地域福祉、健康、医療など

5. 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）

マーケティング、商業、工業、雇用・労働、農業、ツーリズム など

新たな政策（案）

1. 安心・安全で快適に暮らせるまち

防災、消防・救急、防犯、交通安全、消費生活、コミュニティ など

2. 生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち

健康、生涯学習、文化・芸術、スポーツ など

3. 良質な住環境のなかで暮らせるまち

公園・緑地・自然、市街地整備、景観、道路、河川・排水、上下水道、公共交通、住宅施策、環境、ごみ処理 など

4. 賑わいと魅力のあるまち

マーケティング、商業、工業、雇用・労働、農業、ツーリズム など

5. 誰もが自分らしく暮らせるまち

高齢者支援、障害者（児）支援、生活支援、地域福祉、医療、多文化共生 など

6. 子どもをみんなで育むまち

子育て、学校教育、青少年育成 など

答申事項４ まちづくりの基本政策

「都心から一番近い森のまち」の実現に向け、分野ごとのまちづくりの方向性及び配慮すべき事項について、次のとおり示します。

１．安心・安全で快適に暮らせるまち

防災、消防・救急、防犯、交通安全、消費生活、コミュニティ など

- ・台風や集中豪雨、巨大地震などの災害への備えとして、公助のみならず、自助・共助の取組みを進める必要がある。
- ・人口の増加による防犯や交通量の増加による交通安全など、身近な安心・安全を確保する取組みが必要である。
- ・多様化・複雑化する消費者トラブルへの対応が必要である。
- ・防災や防犯、地域の見守りなどにも活躍している地域コミュニティの重要性を再認識し、活性化を図る取組みが必要である。

２．生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち

健康、生涯学習、文化・芸術、スポーツ など

- ・平均寿命の延伸により、介護の必要がない健康寿命の延伸を図る取組み、介護予防やライフステージに合わせた健康づくり支援などが必要である。
- ・元気な高齢者が増えることにより、高齢者が社会参加できる取組みが必要である。
- ・生きがいを持って健康的に過ごすために、若いうちから誰もが文化・芸術やスポーツなどの生きがいを持てるような取組みが必要である。

３．良質な住環境のなかで暮らせるまち

公園・緑地・自然、市街地整備、景観、道路、河川・排水、上下水道、公共交通、住宅施策、環境、ごみ処理 など

- ・公園・緑地の整備や生物多様性の保全、失われた緑の回復により、良質な住環境を彩る緑豊かなまちづくりが必要である。
- ・つくばエクスプレス沿線整備の早期完了を目指すとともに、既存市街地についても良質な住環境の創出が必要である。
- ・道路や上下水道など社会資本の老朽化に対応した適正な維持管理と更新が必要である。
- ・通勤・通学時間帯に混雑する都心へ向かう列車の混雑緩和対策が必要である。

- ・住宅の耐震化や高齢者の住み替え、空き家対策などの住宅施策の充実が必要である。
- ・良質な住環境を創出するため、市内交通網の充実や身近な生活環境の保全、適正なごみ処理が必要である。

4. 賑わいと魅力のあるまち

マーケティング、商工業、雇用・労働、農業、ツーリズム など

- ・独自性を持ったプロモーションやマーケティング戦略に取り組む必要がある。
- ・市外に流出している消費を呼び戻すため、魅力ある事業所や店舗を増やす必要がある。
- ・生産性の向上を図り市内農産物の市場拡大を図る必要がある。
- ・市の歴史や文化などを生かした流山本町・利根運河ツーリズムを進めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックによるインバウンド効果を取り込む取組みが必要である。

5. 誰もが自分らしく暮らせるまち

高齢者支援、障害者（児）支援、生活支援、地域福祉、医療、多文化共生 など

- ・高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせる取組みが必要である。
- ・生活困窮者が早期に自立できるような支援が必要である。
- ・妊娠・出産、乳幼児から高齢者までライフステージに応じた健康づくり（医療）への支援が必要である。
- ・増加している外国人に対し、各種支援・相談体制の充実が必要である。

6. 子どもをみんなで育むまち

子育て、学校教育、青少年育成 など

- ・妊娠・出産、子育てまでの切れ目無い支援が必要である。
- ・共働き世帯の増加など多様化・高度化するニーズへの対応が必要である。
- ・ひとり親家庭や児童虐待、障害のある子どもへの支援体制づくりが必要である。
- ・次世代を担う子どもたちに流山らしい特色ある教育を推進する必要がある。
- ・年少人口の増加に合わせた子育て支援施設や学校施設の整備が必要である。

る。

- 施設整備にあたっては、将来的な年少人口の減少を見据えることが必要である。